

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ハッピーテラス幸教室		
○保護者評価実施期間	2024年11月25日		～ 2025年1月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2024年11月25日		～ 2024年12月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個人の特性に対応した質の高い支援 ※支援各種研修に積極的に参加職員のスキルの向上を常に務めている。	・川崎市療育相談支援センターや病院や大学主催の研修にも積極的に参加し堅守で学んだ知識を職員全員に対しミニ研修をおこない知識の共有をおこなっている。 ・発達障害支援者養成スクールに常勤職員全員が登録しています。受講状況や資格取得状況を管理し共有し、日々支援に活用できる知識を学んでいます。	就業時間内に受講時間を、設けて更に実践的に活用できる知識を増やしていきます。特性に合わせた支援内容や研修を共有し、職員全体のボトムアップに努めより質の高い支援を目指しています。また、支援に関する新しい学びや有効的だった支援を引き継ぎに入れ全体共有が常に図れるよう対応していきます。
2	療育プログラムが充実している。 活動プログラムが固定化されないように工夫しています。	・5領域に沿った年間支援カリキュラム使い対人関係や身辺自立や地域生活に活用できるなど具体的なテーマを週ごとに取り決めてトレーニングを実施しています。各職員の得意分野を活かし楽しみながら学んでいけるよう支援をおこなっています。	職員全員によるトレーニング内容の事前共有や意見交換を毎日おこなっています。外出イベント【地域生活での自立、社会的スキルの向上】、料理イベント【身辺自立】、工作イベント【巧緻性、認知向上】、お楽しみイベント【運動感覚向上】なども毎月数回程度実施し情報発信もおこなっていきます。
3	幅広い年齢層との関りがあり ソーシャルスキルが身につけられる。	・小学1年生から高校3年生までと一緒にトレーニングや活動をおこなうことにより、上級生から直接教えてもらうことができたり一緒に取り組むことで関わりながら学ぶことができます。上級生になると責任感も自然に育ち一緒に成長していける工夫しています。	・子ども同士での対話を増やし、成長に関する悩みや不安を話せる機会を増やしサポートし合える関係を更に構築していきます。職員が介入しながら自分気持ちを言葉で伝える機会を増やし安心して友だちと関われる環境を整えていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムを実施について	家族支援プログラムやペアレントトレーニング等に関する情報共有がおこなえていないこと。要因として、業務量の多さと保護者向けの共有資料が限られていることが要因と考えられます。	保護者のサポートとなるような情報共有を増やすため、日々子育てや発達障害に対するの質問や疑問を保護者全体に共有し、情報共有の機会を増やしていきます。
2	保護者会の開催など、保護者同士の交流の場を設けられていない。	子どもたちの来所時間と重なり保護者会の為に時間を設けることができない状態にあることが要因と考えられます。	午前中など子どもたちの来所と重ならない時間に設定または、zoomでの開催など保護者の皆さまが参加しやすい方法を検討する。
3	地域に開かれた事業所運営としては十分とは言えない。	教室の活動に地域住民を招くなどの地域に向けた活動は安全面を配慮しおこなえていない状況がある。	予約制などにし地域の一定の方の来所にすることで安全面の配慮をしながら他事業所と情報交換ができる場に積極的に参加し保育園、幼稚園、児童発達支援事業所等に周知活動をおこなっていく。